

編集後記

このたび編集委員に加えていただき、今回初めて「日本小児循環器学会雑誌」の編集業務に参加させていただきました。編集委員の主な仕事の一つに、論文の担当編集委員（associate editor：通称 AE）として査読者を選定して、査読者からの意見をまとめることがあります。AEとして査読コメントに触れてみて感じたことは、査読者の先生方が本当によく論文を読み込んで、丁寧に論評してくださるということでした。基本的なスタンスが、いい論文かどうか見定めよう、ということではなく、こういう点について書くともっといい論文になるよ、という感じで応援するようなコメントが多く見受けられます。時に、それは厳しく日本語表現の仕方にまで及ぶので、煩わしく感じることもあるかもしれません。留学時代に上司から、わかりやすく読みやすい論文を書く必要性を強調するために、「Reviewers will read your paper sitting on the toilet.」と言われてきたので、そのイメージと正反対の査読者の先生方の姿勢に本当に頭が下がる思いです。編集委員会では、諸先輩方に囲まれながら、どうしたら小児循環器が若手の先生方にとって魅力的な分野になるかなどと考えています。今後も編集委員の業務を通じて、学会に何らかの形で貢献できれば幸いです。

（犬塚 亮）